

## 令和8年度第2回イノシシ管理検討協議会 会議録

令和8年9月17日（木）開催

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題
  - (1) 令和7年度イノシシ管理対策の実施状況について（報告）
  - (2) 令和7年度捕獲等事業評価シートについて（協議）
  - (3) 第4次イノシシ管理計画の素案について（協議）
  - (4) その他

### 1 開会

#### 【事務局】

構成員の皆様方には、お忙しいところイノシシ管理検討協議会にご参集賜りましてありがとうございます。

それでは、ただいまから令和8年度第2回イノシシ管理検討協議会を開催をいたします。  
初めに岩手県環境生活部自然保護課総括課長の引屋敷から一言ご挨拶を申し上げます。

### 2 挨拶

岩手県環境生活部自然保護課・引屋敷総括課長

### 3 議題

#### 【事務局】

続きまして3の議題に移ります。

協議会設置要綱第3の2及び3の規定によりまして、協議会には会長を置き、会長が会務を総括することになっています。

以降の進行につきましては、宇野会長にお願いします。

宇野会長恐れ入りますが会長席にご移動のほどお願いいたします。

#### 【宇野会長】

議事に入る前に事務局から当協議会の非公開部分の決定について発言を求められていますので、事務局からご説明をお願いします。

#### 【事務局】

本日の議題(3)第4次イノシシ管理計画の素案につきましては、情報公開条例第7条第1項第5号に該当する部分が含まれていることから、非公開としたいと思います。

#### 【宇野会長】

この事務局の提案についてお諮りしますが、議題(3)については非公開することで決定でよろしいでしょうか。

（異議なし）

異議がないということで、議題(3)については非公開とし、決定させていただきたいと思います。  
それでは早速議事に入ります。

報告事項である議題(1)令和7年度イノシシ管理対策の実施状況について、事務局からご説明をお願いします。

**【事務局】**

(資料1により説明)

**【宇野会長】**

何かご質問はありますか。

**【佐々木歩構成員】**

ご報告いただきました被害額について、令和7年度は特に水稻でかなり金額が上がっていると思いますが、これは米価の上昇が反映されたものと認識してもよろしいですか。

それとも、実被害面積が増えたという認識でしょうか。

**【事務局】**

被害量、被害面積ともに増えているという状況です。

**【佐々木歩構成員】**

令和7年度は米価がかなり上がりましたが、その辺りは反映されていないというイメージでよろしいでしょうか。

**【事務局】**

被害額の算定に関しましては、平均的な金額を用いて算出しておりますので、単年の米価の高騰が直接被害金額の増加には繋がってはいないです。

**【宇野会長】**

農業被害防止対策実施状況について、侵入防止柵の設置状況はシカとの合算ということですが、最近シカ柵ってどんなものが設置されているのでしょうか。

電気柵を指しているのでしょうか。

**【事務局】**

侵入防止柵につきましては、岩手県においては9割超が電気柵を設置をしているという状況でございます。

**【青井構成員】**

柵の設置状況はシカと合算ということで、シカ用のものも含まれているということですか。

**【事務局】**

このシカとの合算というのは、集計上、シカ対策の電気柵とイノシシ対策の電気柵を分けて集計していないので、シカ対策として設置した電気柵の延長も含まれているということです。

最近シカ、イノシシ、クマ、それぞれに対応する5段張りの電気柵なども増えていますが、いずれ、この1,479kmの中にはシカ用のものも含まれているということでございます。

【青井構成員】

今は併用の柵もありますけど、これまで使っていたシカ用の柵は、イノシシにほとんど効果がな  
いものもあるので、累計で考える場合はそういうものが含まれてるということを踏まえて、評価す  
るべきだと思います。

【宇野会長】

重要な指摘と思います。

堂山さん、シカ用の柵に比べて、イノシシ用の電気柵は結構低くしなきゃいけないということで  
よろしいでしょうか。

【堂山構成員】

シカ用の柵だと下端は 30 センチぐらいですが、それではイノシシには潜られます。

できれば今後は分けて集計できれば一番いいんですが、難しいでしょうか。

【事務局】

単年度であれば、シカ用、イノシシ用を区別した整理できるんですが、過年度分まで遡るのは難  
しいという状況です。

例えば、令和 8 年度に新設した柵のうち、シカ用は何km、イノシシ兼用は何kmとか、クマ・イノ  
シシ兼用は何kmというな形であれば、ご報告はできるのかなという状況でございます。

【宇野会長】

そのような形で集計していただきたいと思います。

また、イノシシの被害がある地域では 1 段目を 20 センチぐらいにするように、併せて指導も今後  
行われればいいと思います。

それでは議題(1)はここまでまでにしまして、議題(2)令和 7 年度捕獲等事業評価シートについて事務  
局からご説明をお願いします。

【事務局】

(資料 2 により説明)

【宇野会長】

ご意見、ご質問等ございませんか。

【堂山構成員】

密度評価の部分、CPUE の図なんですけど、岩手県の場合はこれまでイノシシが生息していなかった  
地域も増えていっている状況ですので、全県単位で評価するよりも、例えば南の方の定着地域と、  
北や海沿いの方の比較的まだ数が少ないところの CPUE の増減というのを分けたほうがいいのかと思  
いますが、可能でしょうか。

【事務局】

この図の基となっている指定管理事業の報告書には、捕獲場所のメッシュ番号も書いていたはず  
なので、区分けはできると思います。

【堂山構成員】

既に定着してる地域では実は CPUE があんまり上がってない可能性や、逆に増えてる地域は CPUE も上がっており、密度が増えているのが分かると思います。

西日本のように全体的にイノシシが高密度でいるような地域であれば、まとめるのも一つの方法とは思いますが、岩手県の場合は、全域に定着するまでは、沢山生息している地域、中間的な地域、ほとんど生息していない地域といった感じで分けてみてもいいと感じました。

【事務局】

今は単年度の図しか載せていないので、前年度との比較とか、そういったやり方も考えてみたいと思います。

【宇野会長】

ありがとうございます。

確かに密度の濃淡があるので、非常にいいアイデアだと思いますが、どういうふうに分けるかは検討が必要です。

この地図を見ても、行政区で分けるのか、地域で分けるのか、川とかで分けるのか、区分けをうまく引ければ、たくさん生息しているのに捕獲できてないなどの実態が見えてくるかもしれませんので、検討してみてください。

【堂山構成員】

今載っている図でも、色分けで濃いところと薄いところで分けてもいいかもしれないです。

【宇野会長】

この図だと捕獲頭数 10 頭以上の地域かどうかで分けるという感じでしょうか。

【堂山構成員】

何となく 10 頭以上の地域、10 頭未満の地域で分ければ、上手く分かれそうな感じはします。

【宇野会長】

捕獲頭数で地域を分けるというのも一つの方法としていいかもしれません。

検討ということよろしいですか。

【事務局】

区分けの仕方とか比較の仕方を考えてみたいと思います。

【宇野会長】

他に何かあればお願いします。

【青井構成員】

5 ページの一番上、目標設定の欄ですが、捕獲数が前年より多かった理由として、積雪が多く麓へ下りてきたためと書いてありますが、岩手県全域が積雪が多かったわけではないでしょうし、本当にイノシシに影響与えるほど多かったのか、何か根拠みたいなものはないんでしょうか。

【事務局】

積雪が多かったという評価は、気象庁が発表してる資料とかで比較したわけではなくて、捕獲を実施いただいた岩手県猟友会に、捕獲が多かった要因は何か、現場の状況はどうだったのかという視点で聞き取った、現場のご意見ということで載せておりました。

なので客観的な積雪のデータなどを用いて整理しているわけではありませんでした。

【青井構成員】

やむを得ないところかと思います。

【宇野会長】

聞き逃したかもしれないんですが、「くくりわな」と「箱わな」を分けないでCPUEを算出した理由って何だったのでしょうか。

【事務局】

指定管理鳥獣捕獲等事業の報告書が、「くくりわな」と「箱わな」をはっきり区別する記載方法になっていないことが理由です。

区別して書いていただいている方もおりますが、ほとんどの方は「わな」としか書かれてない状態なので、その場合は「くくりわな」であろうと見込んでおりますが、はっきりと区別できていないという状況です。

【宇野会長】

それは次年度以降は改善はできるものでしょうか。

【事務局】

猟友会と相談して、従事者の方にご協力いただけそうであれば、改善できるかとは思います。

【宇野会長】

猟友会のご意見はどうでしょうか。

【皆川構成員】

報告用紙に記載事項を追加してもらえば可能だと思います。

【宇野会長】

ありがとうございます。

「くくりわな」か「箱わな」かチェックするだけでも分かると思います。

もしくはどちらも仕掛けてる人については、2枚出してもらうとか、何かうまく改善できればと思いますが、よろしいですか。

【事務局】

猟友会と相談して報告体系に関して、どこまで様式を変えられるとか、相談しながら考えてみたいと思います。

【宇野会長】

他に何かありますか。

【中舘構成員】

指定管理鳥獣捕獲等事業の評価書を拝見して、年間の捕獲の中で大きな割合を占めていることがよく分かりました。

当市は本当にイノシシの被害が多く、連日相談が寄せ寄せられている状況であります。

今後も捕獲圧を強化すること、冬季の捕獲圧を強化するうえでとても重要で大切な事業であるということを実感いたしましたので、引き続きよろしくお願いいたします。

【宇野会長】

一関市さんの方もそういう期待をしてるということで、今後も県の方も指定管理鳥獣捕獲等事業を続けていければと思います。

あともう1点、今回 SPUE は、目撃をしてないところは反映されてないので、非常に高くなってしまっているということで、確かにその通りなんですけど、すぐに改善はできないと思いますが、5 ページのどこかに一言、これについての文言を入れられませんか。

【事務局】

捕獲できなかった日も反映させるべきというような文言でしょうか。

【宇野会長】

そうですね、すぐにはできないと思いますが、改善としてそれができれば、もう少し個体数推定にも使える数値になってくるので、ぜひ改善点としてのどこかに入れていただけると、毎回その部分も議論できると思います。

【事務局】

そういった評価をできるように模索していく、などあまり具体的には書けないかもしれませんが、実際にやるとなれば猟友会との調整が必要になってくるので、理想としてはこうだっというのをどこかに入れて、修正したいと思います。

【宇野会長】

ありがとうございます。

模索でよろしいと思います。

他に何かありますか。

【佐々木秀博構成員】

4 ページの「捕獲によって出没（密度）や被害が減少したかを検証する。」っていう項目ですが、被害のところで農業被害額の把握はしているものの、指定管理鳥獣捕獲等事業による効果検証のための被害調査はこれまでは行っていないとの記載があるんですけども、今後効果をどう確かめているのか、お考えを知りたいです。

【事務局】

農業被害の集計は、あくまで農業振興課でやっている従来の集計しかないので、指定管理鳥獣捕獲等事業を行った地域で被害が減ったか増えたかっていう、独自の調査はできておりません。

これからについては、指定管理鳥獣捕獲等事業による効果の検証は強化していかなければいけない流れになっている状況ですので、農業振興課がやっている農業被害額のような全県的な調査までは難しいかもしれませんが、どこか抽出した市町村で検証地域を設定して、効果の検証は進めていかなければならないと考えております。

現時点で具体的にどの市町村でやるっていうところまでは行けておりませんが、今後近いうちにそういった体制を整えていかなければいけないと考えているところです。

【宇野会長】

指定管理鳥獣捕獲等事業をやるときの今おっしゃったような検証地域を決めていく流れは、今後の管理計画の中にも書いてある重点地域を決める話にも関わってくるという認識でいいですか。

【事務局】

おっしゃる通りです。

【宇野会長】

他にご質問はよろしいですか。

そしたら、いただいた意見を基にですね事務局で適宜修正等していただければと思います。

次に協議事項である議題(3)第4次イノシシ管理計画の素案についてに移りますが、以降は非公開の内容を含みますので、傍聴者は退室をお願いいたします。

—————「議題(3)第4次イノシシ管理計画の素案について」は（非公開）—————

【事務局】

今後のスケジュールについてです。

本日頂戴いたしました皆様のご意見等を反映いたしまして、来月10月28日に、岩手県環境審議会の自然鳥獣部会におきまして、他の鳥獣の計画と合わせまして、正式に諮問する予定です。

そちらの環境審議会でのご議論の結果もあわせて反映させていただきまして、11月中旬に、パブリックコメントを実施し、県民の皆さんのご意見を伺う期間を1か月ほど設けます。

その結果も反映し、来年1月頃に改めてイノシシ管理検討協議会の場で最終案についてお諮りする予定でございます。

ですので次回は年を跨いで来年1月頃に開催する予定です。

引き続きご意見等を頂戴いただきますようお願い申し上げます。

【宇野会長】

他に何かありますか。

それでは、これで議事を終了します。

ご協力ありがとうございました。

【事務局】

宇野会長ありがとうございました。

本日は長時間に渡りご審議いただき、大変ありがとうございました。

これをもちまして令和8年度第2回イノシシ管理検討協議会を終了させていただきます。